

## 芽室高校新聞局との「オンライン意見交換」について

### －昨今の経過－

- ・先週末、「新聞の全道大会」が Zoom で行われ、1年生6人が参加。
- ・通信環境は、主催者側から配布されたポケット Wi-fi で対応した。(それなりに開催時間が長かったため)
- ・資料は事前配布され、紙ベースで見ながら開催。

### －オンライン意見交換の実施に向けて－

- ・せっかく準備してきて、生徒たちの実施経験があることから「オンライン」で実施しては。
- ・日程は当初プランのまま、12月23日、16時～17時で実施。
- ・新聞局だけでも開催可能。3年まで入っても10人。
- ・学校の教室を一つ借り切って、生徒は、そこに集まる。
- ・生徒は、自分の端末(又は学校の PC)で対応。1時間程度ならデータ量も消費しない。
- ・周囲へ音が反響しないよう、ヘッドセットを使用する
- ・意見交換のグループ分けは、Zoom の「ブレイクアウトルーム」を活用
- ・グループディスカッション後の共有は、全体の会議室に戻り報告者が口頭で説明する。

## R2 芽室高校生徒と芽室町議会議員との「オンライン」意見交換（案）

### ■目的:

令和2年度芽室町議会活性化計画における主要事業の一つに「町民との意見交換会の深化と充実」を掲げている芽室町議会として、「住民への議会活動の認知度向上」を図るとともに「若い世代の考えを政策に反映させ」「まちづくりを考え・参加する機会」のきっかけづくりとするために「高校生との意見交換会」を実施する。

### ■対象:芽室高校生徒(新聞局員 等)

### ■内容:

○テーマ:「**コロナ時代を生きる**」～**私たちはこれからどう生きていくのか!**

今年、世界中を震撼させ、今なおその感染拡大が集束しない「新型コロナウイルス感染症」は、人と人との距離を変え、従来の生活や学習のスタイル、ビジネスモデルなど、さまざまな領域・分野で大きな変化を生じさせた。

この間、国・地方自治体で様々な対応・対策が行われてきたが、かつて経験したことがない「災禍」の中、私たちは「何を感じ」「何を失い」「何を得た」のか。

これまでに起きたことを振り返りつつ、今後、行動変容・生活態様の変化が求められる中で、これからの自分たちの暮らしは、どうなっていくのだろうか? どうしていくべきなのか?

私たちの未来あり方についての議論を通じて、社会参画の機会の一つとする。

○日程: **12月23日(水曜) 16時~17時15分**

○開催場所: **オンライン(Zoom) + 芽室高校 1階会議室(生徒用)**

○全体の構成:

- 1 開 会
- 2 議長挨拶
- 3 日程・目的・意見交換会の進め方について
- 4 意見交換会
  - (1)出席議員の自己紹介
  - (2)意見交換会(グループワーク)
- 5 発 表
- 6 閉 会

○対応:全議員

○その他:「**新北海道スタイル**」を遵守し、感染防止対策を行ったうえで実施する。

- ・手を洗う・手指消毒を徹底する
- ・マスク着用など咳エチケットを徹底する
- ・こまめな換気を行う
- ・3つの密を避ける



## R2 年度 芽室高校生徒との「オンライン」意見交換会(進行案)

進行: 全体進行(オンラインホスト):議会事務局

- ① 開会あいさつ:早苗議長 16時00分(2分)
- ② 日程の説明:中村副委員長 16時02分(2分)
- ③ 目的・テーマ説明:梶澤委員長 16時04分(3分)

○議会はなぜ「高校生と意見交換」するのか? - 画面共有で資料を見せる?

○ **中村副委員長**から、オンラインWSの進め方を説明 16時07分(3分)

- ◆事前に「参考資料」と「進行資料」を送付しているはず
- ◆WSでは、まず、令和2年に入ってから「新型コロナウイルス感染症」に関わる世の中の出来事などを、簡単に振り返ってみて、「皆さんの暮らしに何が起こった? どう感じた?何を無くし、逆に、何を得たのか?」など話してみます。
- ◆次に、「新型コロナウイルス感染症」に関わる国などの対応・対策などを振り返ってみて、「役に立ったのかな? 自分だったら、どうする?どう思う?」  
みんなが住む町(市)で出した対策で良いと思うのは? 無駄と思うのは?」など、意見を出してみます。
- ◆最後のセッションとして、これからは「with コロナ」の時代と言われる中で、「うまく付き合って生きていくしかない」のかもしれない。「そうだとしたら、自分立ちの暮らしはどうなっていくのか?どうだったら良いと思うか?」…そんなことを話し合ってみます。
- ◆それぞれの意見などは、各自がメモをしておいてください。最後に発表して各グループの内容を共有しますので、発表者は、簡単に話せるようにまとめておくと良いです。
- ◆人によって考え方はさまざまなので、お互いに考えを言い合って、多様な考えや判断があることを知り、共有すること、社会のあり方模索する議論からの「気づき」「共有」を通じた自らの「変化」が目的。
- ◆まずは各班、進行・記録の担当を決めて、簡単に自己紹介をして、名前の読み仮名を確認してから、ディスカッションを始める。

○ 意見交換:各グループ(ブレイクアウトルーム)で実施 16時10分(50分)

- ①議員・高校生自己紹介
- ②ワークショップ →別紙「進行案-詳細を参照」

○ 発表・提案:各班から 17時00分(13分)

○ 集合写真撮影-ホストPCの画面を記録撮影

○ 閉会あいさつ:常通副議長 17時13分(2分)

※終了

17時15分(目標)

## 【当日のグループ内進行】

## ■セッション1:

年明けから今に至るまでに何があったか振り返ってみる [事前送付の資料を参照]

- ①「コロナ」の発生 →感染拡大。  
→武漢から世界へ。クルーズ船。出入国制限…



- ②その「コロナ」に対して、世界、国内でも次々と対応策が出された  
[緊急事態宣言、StayHome、飲食店など営業時間制限…]  
その結果、どんなことが起こったか？  
→保育・教育の分野では大混乱！  
→飲食店・旅行業・輸送・宿泊業…多くの産業に多大な影響が！

[ディスカッション]:

皆さんの暮らしに何が起こった？ どう感じた？  
無くしたものは？ 得たものは？



- ③国民の暮らしを支え？ 不安を解消し？ 経済を立て直すため？…として、こんな  
対策が出された  
→特別定額給付金・マスク配布・経済対策=GOTO キャンペーン…など

[ディスカッション]:

国が出した対策って、本当に役立ったのかな？ 功罪両面あるのでは？  
自分だったら、どうする？どう思う？  
みんなが住む町(市)で出した対策で良いと思うのは？ 無駄と思うのは？



- ④経過振り返りを踏まえ、これからの社会・暮らしのあり方を模索してみる

これからは「with コロナ」の時代だろう…  
「うまく付き合って生きていくしかない」のかな？

[ディスカッション]:

そうだとしたら、自分たちの暮らしはどうなっていくのか？  
どうだったら良いと思うか？

R2 年度 芽室高校生徒との「オンライン」意見交換会 タイムテーブル 案

	議員	芽室高校生徒	事務局
準備1 2週間前			・参照資料等作成送付 →教諭宛て(各生徒へ)
準備2 1週間前	・事務局からミーティング URL を受信	・教諭からミーティング URL を受信	・ミーティングルーム作成 ・メールで招致 →教諭宛て →議員宛て(タブレット)
当日 15:30	・所定の場所で各自準備 ・本会議場 ・委員会室 ・自宅 他	・所定の場所で各自準備 ・会議室等(借り切り)	
15:45	・各自ミーティングルームへ	・各自ミーティングルームへ	・ミーティングルーム開場 ・随時「承認」
16:00	(説明者以外は音声ミュート) ・議長挨拶 ・日程説明 ・目的、テーマ説明 ・オンラインWSの進め方説明	(音声ミュート)	・開会を確認 (確認後音声ミュート) (ミュート制御)  ・資料共有?(議運委員長用)
16:10	[班分け] ・各ブレイクアウトルームで ディスカッション	[班分け] ・各ブレイクアウトルームで ディスカッション	・ブレイクアウトルームの設 定・振り分け開始 ※一定時間で強制送還
	(グループディスカッション) ・自己紹介 ・発表者決定 ・意見交換		・ブレイクアウトルームの解消 (必要あれば)
17:00	・ブレイクアウトルームから ミーティングルームに復帰	・ブレイクアウトルームから ミーティングルームに復帰	
	・各グループの発表者が口頭で意見交換内容を発表 (最後のセッションの結果のみ)		
17:13			・PC画面撮影
17:13	・副議長挨拶		
17:15	・終了 (全ミュート解除) みんなで「お別れ」を		・全ミュート解除 ・ミーティング終了

## 令和2年度芽室高校生徒との「オンライン」意見交換会（案）

### (1)開催趣旨:

令和2年度芽室町議会活性化計画における主要事業の一つに「町民との意見交換会の深化と充実」を掲げている芽室町議会として、「住民への議会活動の認知度向上」を図るとともに「若い世代の考えを政策に反映させ」「まちづくりを考え・参加する機会」のきっかけづくりとするために「高校生との意見交換会」を実施する。

### (2)主催:

- ・芽室町議会

### (3)テーマ:

- ① 芽室町議会の取組み概要紹介～「**議会はなぜ高校生と意見交換をするのか**」
- ② **意見交換テーマ**：  
「**コロナ時代を生きる**」～私たちはこれからどう生きていくのか！

### (4)対象者:

- ・芽室高校新聞局等：10人程度を想定

### (5)開催日程及び開催場所:

- ・日程：12月23日（水） 16時～17時15分
- ・場所：**オンライン（Zoom）** + 芽室高校 1階会議室（生徒用）

### (6)実施方法:

- ① 全議員が参加するものとし、適宜班に分けて実施する。
- ② あらかじめ進行、記録者を決めておく。
- ③ **参考資料等の事前送付、タブレット活用など効率的な会議を行う。**
- ④ 意見交換手法はワークショップで行う。
- ⑤ 出された意見については『議会報告と町民との意見交換会の意見・提案・要望等の取り扱いフロー』に準じて、整理する。
- ⑥ 役割及び分担
  - ア 全体統括・企画：議会運営委員会で行う。
  - イ 配付資料の作成：事務局
  - ウ 意見交換会参加者アンケートの作成：（別紙 案）
  - エ 会場の設営：高校教諭等と連絡調整し行う。
  - オ 説明・進行：議会運営委員が行う。
  - カ 記録：指定様式により、概ね1週間以内に委員長に提出する。
    - ・提出者は班内で役割分担のうえ決定する。
    - ・記録写真の撮影：事務局

**(7) 進行:**

- ① 開会あいさつ：早苗議長 16時00分（2分）
  - ② 日程の説明：中村副委員長 16時02分（2分）
  - ③ 目的・テーマ説明：梶澤委員長 16時04分（3分）
    - ① 議会はなぜ「高校生と意見交換」するのか？
  - ④ ワークショップの進め方 16時07分（3分）
  - ④ 意見交換：各班で実施 16時10分（50分）
    - ① 議員・高校生自己紹介
    - ② ワークショップ
  - ⑤ 発表・提案：各班から 17時（13分）
  - ⑥ 閉会あいさつ：常通副議長 17時13分（2分）
- ※全体進行（オンラインホスト）：議会事務局（全体 1時間15分）

**(8) 会議録・報告書の送付:**

- ① 会議録：参加者の生徒、校長・教頭・担当教諭へ、2週間以内に送付する。
  - ・出された意見のまとめ。
- ② 報告書：後日配布する。  
報告書の内容は、
  - ① 出された意見及びその意見に対する回答文（必要に応じ）
  - ② 意見交換会参加者アンケートの結果内容
  - ③ その他

**(意見交換 班構成)**

Aグループ

正村紀美子	委員長
西尾一則	委員
中村和宏	委員
堀切 忠	委員

Bグループ

鈴木健充	副委員長
柴田正博	委員
黒田栄継	委員
早苗 豊	議長

Cグループ

立川美穂	委員長
常通直人	委員
寺町平一	委員
橋本和仁	委員

Dグループ

渡辺洋一郎	副委員長
広瀬重雄	委員
梶澤幸治	委員
中田智恵子	委員